

葉隠塾長日記

江戸時代には全人口の五人に一人が訪れたと言われる伊勢神宮(正式にはただの「神宮」)。日本最高位の神社として今もたくさんの方が訪れますが、私は十年前の式年遷宮以来、いつも激込みと聞いているので、伊勢方面に行っても避けていました。ですが神宮のすぐ近くに住んでおられる人が案内していただけるので、初めて御垣内(みかきうち)参拝(御正宮の垣根の内側の聖域に入っの参拝)をしてみました。残暑厳しい中、上下スーツにネクタイを締めて、まずは外宮へ。遷宮御造営資金を奉納し、御正宮で参宮章を見せて受付。神主さんの後をつけて御垣内に入ります。玉砂利がかなり大きく、すごく歩きにくいですが、やはり内側に入るのとは特別感があります。緊張感も高まりながら、鳥居前で整列をしたと思ったら、すぐに二礼二拍手一礼して終了。意外とあっけなし…。その後「せんぐう館」を見学し、赤福水で涼をとってから内宮へ。やはり説明を受けながらですと、建物や神具、神事の意味がよくわかり、神宮の偉大さを改めて感じました。そして案内して下さった方曰く、「御正宮の二十年の老朽スピードより、神さまがお引越した後の一ヶ月のほうが、みるみる朽ち果てていった。やっぱり神さまはいるんだと思った」そうです。今後はもっと参拝しなければと思いました。

参拝の締めは、伊勢の超有名激安居酒屋へ。名物の湯豆腐はもちろん他の料理も美味しく、値段はテキトー(笑)、チューハイはほぼ焼酎原液(笑)。電車で爆睡しながら伊勢を後にしました。

三浦光広

葉隠塾日々想々

彦坂 訓(ひこさか さとる)

今の地域に引越して三十年近く経ちます。引越した頃から十五年くらいは隣町主催の花火大会がありました(小さな花火ですが超至近距離です)。その後、財政難で中止となり存在を忘れていました。が、先月の晩御飯中、予告なく復活の日がやってきました。花火の爆音を聞いたとたん屋上へ上がり、見上げる花火に家族三人愛犬三匹「感謝カンゲキ(雨嵐)」状態で笑顔満開になりました。

左藤 史隆(さとう ふみたか)

今年の家庭菜園(ランタ)で、バジルとオクラを育てたのですが、バジルがオクラの養分を全て奪い取ったのか、食べるところが殆ど無いオクラが実りました。その代わり、食べきれない程のバジルが群生し、今年はジェノベーゼを何度作ったか数え切れないほどでした。バジルはバジル、オクラはオクラで別のランターが良いのか…来年リベンジしよ。

森 大輔(もり だいすけ)

犬って、セミが好物って知ってましたでしょうか？リビングにセミが迷い込んできた時、我が家の愛犬がそのセミを丸のみ！必死に犬の口をこじ開けたところ、愛犬の喉の奥にセミの顔がこちを向いて、コンチハしており…それはそれは、トラウマ級のグロテスクな光景でした…。嫁と「ギャーギャー」言いながら、セミを喉からつまみ出そうとしても、セミの頭はR形状なので、犬の唾液でツルツル滑って、どんどん喉の奥へ…もう諦めました。

岡 洋次郎(おか ようじろう)

先月の駐車場の草取り(草刈正雄)の続編です。いくら草刈正雄しても、雑草が復活してきます。凄く生命力ですね。そこで、正雄した後の地面の上に、遮光機能のあるシートを敷き、雑草の復活を阻止しようと考えております。我らの草刈正雄活動に終止符を打つ時がきましたね…。

大平 和彦(おおひら かずひこ)

父(八十年代後半)と電車に乗った時に、座席に座っていた母娘と思われる方の娘さんが、父に席を譲ってくれました。それを見てお母さんの方も、私に気持ちよく席を譲ってくれました。その方は「次の駅で降りますから」との事でしたが、こちらが先に降りました。申し訳ないのと、もうそんな歳かと思った瞬間でした。

今月もお楽しみいただきましたか？

来月もよろしくお願ひします！



楠精工株式会社

- ・社員数：38名
- ・ご提供できるもの：各種ダイホルダー及び治具・自動化装置 設計製作 (ダイホルダー部品、プレス部品、ハンマー部品、切断刃、中間ビーム他)
- ・スローガン：お客様の喜ぶことをしよう！
- ・住所：名古屋市熱田区三番町4-13
- ・連絡先：電話 052-651-7138 / Fax052-653-0020
- ・URL：<http://www.kusunoki-dieholder.co.jp>